

<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2023 年度春版

A

Q. この山の名前は、次のうちどれでしょう？
(ヒントは山の形！テラスから見えるよ)

① かき氷山

② モグラ塚山

③ 毛無山

④ 飯盛山

【こたえ】 ④ 飯盛山 (標高1.643m)

気軽にハイキングができることから、学校の移動教室などでも登られている飯盛山。
名前の通り、お茶碗にご飯を盛ったような形が特徴の山です。山頂からの眺めは抜群で、裾野を広げるダイナミックなハケ岳や富士山、南アルプスなどの名峰が見られ、360度のパノラマが楽しめます。大きな自然に包まれた春の飯盛山に、おにぎりを持って登りに行ってみませんか？

B

Q. 春、あたたかな日差しを受けて、植物は日ごとに成長していきます。
ここからゴールまでに、あなたが見つけた花やつぼみを描いてみよう！

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

花は、太陽の光や暖かさを感じながら、花びらを開き、花粉を運んでくれる虫や鳥などの訪れを待っています。花びらの色・形・香りは虫たちを誘うための“看板”のようなもの。この“看板”に誘われた虫たちは、蜜を吸うため花から花へ動き回りながら、花粉を体にくっつけて運ぶことで、子孫作りをいつの間にか手伝っていたのです。
虫や鳥のお客様を呼び込む工夫をこらす花は、なかなかの戦略家ですね！
今日のあなたと花の出会いに拍手♪

C

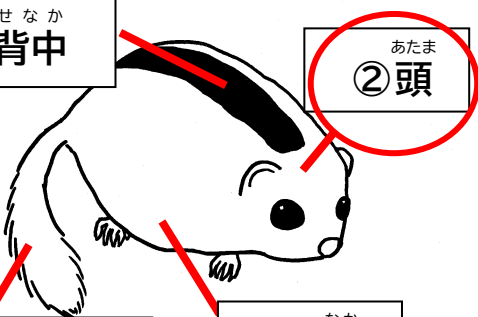
Q. ヤマネは冬眠中、体温を 0度まで下げています。
冬眠から覚める時、ヤマネは体のどこから熱を出し温まりはじめるでしょうか？
次のうち正しいものを選びましょう。

① 背中

② 頭

③ しっぽ

④ お腹



【こたえ】 ② 頭

ヤマネの研究者である湊秋作さんは、冬眠から覚めていくヤマネの様子を、温度が分かる特殊なカメラで撮影をしたことがあります(NHK協力)。すると、まず頭部が熱を持ち始め、50分間で、体温を0度から36度に上げました。“氷鼠”とも呼ばれるヤマネは、小さな体の中に、驚きの仕組みをもっているのです！

D

Q. 森に耳を傾けて、鳥の鳴き声を聴いてみましょう。
鳥の鳴き声には、様々なメッセージが込められています。
メッセージの内容に当てはまらないものを次から選びましょう。

- ① 「結婚しようよ」 ② 「私の縄張りに入らないでよ」
③ 「一緒に歌おうよ」 ④ 「敵に気を付けよう」

【こたえ】 ③ 「一緒に歌おうよ」

鳥にとって、鳴き声はとても大切なコミュニケーション手段です。時と場合によって、同じ鳥でもいろいろな声で鳴くことで、様々なメッセージを相手に伝えます。

○ 「さえずり」 春から夏にかけて聞こえる鳴き声
おもに、オスがメスに求愛する時…(① 「結婚しようよ」)
縄張りの主張……………(② 「私の縄張りに入らないでよ」)

● 「地鳴き」 1年中聞けてオス・メス共に出すと呼ばれる鳴き声
天敵への警戒の合図…(④ 「敵に気を付けよう」)
色々なコミュニケーションをする時など

鳥の鳴き声が聞こえてきたら、どのようなメッセージが込められているのか想像したり、周りの人と一緒に考えてみるのも面白そうですね。

E

Q. あなたが清里に来た記念として、
感じたことや見つけたものを俳句にしてみましょう。

【こたえ】 あなたの書いた答えが正解！

標高の高い清里では、桜が咲くのは5月のGW明け頃になります。

春だなあと感じる暖かい日があれば、まだまだ寒いなぁと感じたりしながら、
少しずつ春の清里になっていきます。

人は嬉しいことがあると自然に笑顔になりますが、春の山の草木が一斉に芽吹く、
明るい様子を、俳句の季語で「山笑う」と言います。

あなたが見つけた清里の春を、ぜひ、友達や家族に伝えてみて下さいね。

清里から家に帰った後も、家の周りの春探しにレッツゴー！